



土崎みなと歴史伝承館

# 伝承館だより

第8号



出演者の皆さん



将軍野一区の子どもたち



正調生保内節を踊る子どもたち



みなとWAKAHATO Jr.

5月5日のこども日、「子どもまつり」～未来へつなぐ港っ子～が開催され、4歳から高校生までの地元の子もたちによる唄や踊り、お囃子が披露されました。

長引くコロナ禍の中、子どもたちにとっては練習しても披露する場が減り、思う存分表現できなかった気持ちと、賑わいを地元の皆さんと分かち合いたい気持ちが一体化し、ご来館いただきました皆さんと大いに盛り上がりました。(写真は、3ページにも掲載)



## 三年ぶりの曳山まつりに想う



土崎港しibusaki会  
会長 保坂 司

土崎港の人々は、お祭りで一年が終わり、お祭りから一年が始まる。この地に生まれ育つうちに、そんな感覚が当たり前となっていました。曳山まつりは土崎の人にとって、決して特別なものではなく、日々の生活に根付いた、ある事が当たり前の行事なのです。そんな日常を揺るがす、2年連続お祭り中止。やるせなく、切なく、もやもやした整理のつかない気持ち。町中がどんよりとして活気が感じられない2年間でした。

そして今年は3年ぶりの曳山まつり。

賛否両論や様々な制約がある中で、秋田県の夏まつりの先陣を切って開催に漕ぎつけた関係者の皆様方にまずは感謝申し上げます。

やはり、曳山まつりは、土崎港の人々の生活を豊かにするための潤滑油であり、ブースターであり充電器でもあるんだと再認識しました。自身も、3年ぶりの音と匂いで心身が目覚め、体中が活性化した思いであります。

私がこの地で生まれ育って、一番の恩恵と感じるのは、地域に密着したこのお祭りを通して生まれる、世代を越えた交流がある事です。伝統の伝承も勿論大事な事ですが、何よりも義理人情、誇り、敬意や感謝の心等がお祭りを通して受け継がれて行きます。

この地域には、世代を越えた大勢の仲間がいるのです。それこそが、このお祭りが無くてはならない大きな意義であり、何ものにも代え難い宝物なのです。

来年からも途切れる事無く、普通に、ごく普通に曳山まつりがある事を願います。

あるべきものが当たり前にあるという事は、本当に幸せな事なのです。

土崎港しibusaki会 会長 保坂 司  
(土崎みなと街づくり協議会 監事)

## 伝承館 令和4年度上半期レポート

今夏、コロナ感染の第7波が全国的に猛威を振るいましたが、感染対策と経済活動の両立を旗印に行動制限のない上半期でした。そんな中、3年ぶりに迎えた土崎港曳山まつり、奉納町内も観客数もいつもよりは少なく感じたお祭りではありましたが、戻り曳山は大いに盛り上がった感があります。まだまだ終息の見通しが立たない状況が続いておりますが、参加人数を限定するなどの3密対策を講じながら行われました上半期の催し物などを紹介いたします。

### ◆入館 10 万人を達成

平成 30 年 3 月 24 日に開館し、1300 日目（休館日除く）に達成しました。大仙市からお越し頂きました斉藤敏子さんら 4 人に記念品を贈呈いたしました。（6 月 26 日）





## ◆土崎空襲関連イベント

日本最後の空襲「土崎空襲」の爆撃地と戦争遺跡をめぐるバスツアーを実施（6月12日）。当時の惨劇を振り返りました。

8月には土崎空襲展で戦争時の遺品、写真、書籍等を展示し（8月1日～28日）、また「土崎空襲紙芝居と3人の戦争体験を語る会」（8月7日）を開催し、戦争の実態や生々しい体験を見て聴くことができました。



土崎空襲学習バスツアー



土崎空襲展



土崎空襲紙芝居

## ◆見返しコンクール（大会）作品展示

次の世代を担う小学生の皆さんに郷土愛を深めていただくことなどを目的に、土崎経済同友会で地元3小学校（土崎、土崎南、港北）の6年生を対象として「子ども見返しコンクール」を実施し、当館で作品を展示しました。（7月18日～31日）



3年ぶりに開催された今年の曳山祭りに合わせて、土崎居住者に見返し文化を身近に感じていただけるよう当館主催で「見返し大会」を実施しました。詳しくは「伝承館だより第7号」をご覧ください。（7月10日～展示中）



## ◆土崎秋銀会より公德傘の寄贈

毎年いただいております公德傘を、今年も頂戴いたしました。ありがとうございました。写真は、左から秋銀土崎支店の藤原支店長、秋銀会の木村会長。（9月14日）



## ◆子どもまつり（つづき）



## ◆かすべ煮のふるまい

3年ぶりのお祭りに合わせ、土崎婦人会により、かすべ煮がふるまわれました。  
(7月21日)



## ◆ガンギエイの生体展示

GAOの協力により、生きているガンギエイを展示、(7月20日～21日)2体の乾燥標本も展示されました。  
(7月16日～8月31日)



生体展示



乾燥展示

## ◆その他の催し物

上記のほか、当館を会場として次の催し物が開催されました。

【ナガサキ原爆・土崎空襲資料展】  
(7月15日～28日 主催：秋田市)

【ナガサキ・土崎被爆証言講話会】  
(7月23日 主催：秋田市)

【まちなかサロン in 土崎】

(9月3日 主催：秋田市)

【塩乃湯 1924～2022 展】

(9月17日～28日 主催：秋田高専井上研究室)



ナガサキ・土崎被爆証言講話会



まちなかサロン in 土崎



塩乃湯  
1924～2022展

## 【伝承館に咲いた朝顔】



## 伝承館からのお知らせ

### 1 昔なつかしい写真大募集

伝承館では、土崎地区に関連した文化・風景など昭和以前に撮影された懐かしい写真を募集しております。

※ジャンル、大きさは問いませんが、複製・展示されることを承諾していただける写真。当館で複製後お返しいたします。

### 2 催し物のご案内

#### ①毎月第1日曜日

午前11時より“唄でつづる土崎みなと”

土崎在住民謡歌手藤原美幸さんとゲストのみなさんによる民謡披露

#### ②毎月第2・4日曜日

午前11時より“港ばやしと踊りの実演”

お囃子は港ばやし保存会、踊りは土崎港伝統芸能伝承会又は港伝承絆会

詳しくは、下記までお問い合わせください。

令和4年10月発行 秋田市土崎みなと歴史伝承館 指定管理者：土崎みなと街づくり協議会  
〒011-0945 秋田市土崎港西三丁目10-27 TEL 018-838-4244 HP: <https://tuchizaki.com/>

【あしがき】 3年ぶりのお祭りも、あっという間に終わってしまった。徐々に燃えた人もいたことでしょう。今年は19町内の奉納であったが、コロナ禍での苦渋の選択を迫られた町内もあったやに。開催はその後の各地のお祭り・イベント等の試金石になったのでは？

今後もウィズコロナの中、中止とならないようできる対策をしっかりと。そして近いうちにコロナを気にしない日常に戻るよう切に願うものである。  
(責：み)